

事務事業名		非核平和推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	行政経営係	担当課長名	齋川 一彦	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 協働の理解促進と市民力・地域力の向上					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2501	一般	2	1	23	非核平和推進事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
					市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
世界の恒久平和の実現と核兵器の全面撤廃を推進するため、平成19年3月22日に「非核・平和都市」を宣言し、日本非核宣言自治体協議会に加盟している。またその理念を市民に浸透させるため、保育園でのお話会や街頭啓発、横断幕の掲出を行う。また、平成22年4月に「平和首長会議」にも加盟している。			非核平和に関し園児を対象におはなし会を開催するとともに、啓発用小物を市民に配布、各庁舎・地区公民館への横断幕掲出などを実施した。また、平和首長会議が作成した原爆ポスターを利用し、地区公民館にて原爆ポスター展を開催した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			おはなし会開催	回	4	4	4			
			啓発用小物配布	個	200	250	250			
			原爆ポスター掲示日数	日	31	31	31			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市民数	人	123,182	122,582	121,522			
			お話し会参加人数	人	170	150	140			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民の平和に対する認識を深め、平和で住みやすい社会をつくる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			原爆ポスター掲示期間中に該当公民館に来館した人数	人	2,349	1,913	2,000			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民と行政が協働することにより市民力・地域力の向上に繋がる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市民と協働して進めている事業数	事業	133	137	152	154	156	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	79	77	136					
	事業費計(A)	千円	79	77	136	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償物資費	8	報償物資費	8	報償物資費	62		
			消耗品費	11	消耗品費	9	消耗品費	14		
負担金			60	負担金	60	負担金	60			
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	80	80	160						
人件費計(B)	千円	311	315	631	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	390	392	767	0	0				

事務事業名	非核平和推進事業	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	担当係	行政経営係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年3月に、新市における「非核・平和都市宣言」を行って以来、市民の平和に対する認識を深めるための事業を推進し、非核・平和思想の啓蒙・啓発を図っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	東日本大震災により、原子力発電所の事故が発生し、原子力政策や放射性物質に対する市民の意識、関心が高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	一般質問において広島市の平和祈念式典に佐野市の将来を担う中学生を派遣し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学習できるような配慮ができないかとの質問があった。(他団体からも同様の要望あり)。また、小中学生に対して事業は行えないかとの質問もあった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市民が平和に対する認識を深めることで、市民自ら平和への行動をとることを促すものなので、政策体系に沿った事務事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
市が行わなければならない	理由・改善案 戦争のない世界を願って、非核平和都市宣言を行って以来、市民の平和に対する認識を深めるための事業を推進し、非核・平和思想の啓蒙・啓発を図ることから妥当である。市がリーダーとなって非核・平和思想を啓発することから、民間等に委ねることはなじまない。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 非核・平和の理念を市民に浸透させ、市民の声として広く訴えることから妥当である。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 おはなし会についてはボランティア団体をお願いし、最低限の費用で啓発活動を行っており、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業名	
	理由・改善案	
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費については、お話会の講師謝礼と啓発に係る消耗品費等程度であるため削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 広く市民への啓蒙・啓発であるため受益者負担の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	世界の恒久平和が実現され、核兵器が全面撤廃となれば廃止できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			